

学校だより

令和3年度全国学力・学習状況調査結果速報報告

6年生を対象に、令和3年(2021年)5月27日(木)に行われた「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果等をお知らせいたします。なおこの調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一つの側面です。

1. 児童に対する調査

(1) 学力に関する調査

＜全国学力・学習状況調査＞

〔国語・算数〕それぞれ45分

①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等にかかわる内容

上記①と②を一体的に問う

(2) 学習状況に関する調査(児童質問紙)(20分～40分程度)

小学校第6学年の児童対象の、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査。

2. 調査結果について

学力に関する調査結果について

＜全国学力・学習状況調査＞

国語に関しては、全国平均や兵庫県平均を上回る正答率でした。ただ、文法(主語・述語・修飾語の関係)に関する問題や、要旨をとらえながら条件に合わせて記述する問題等に課題が見られました。算数に関しても、全国平均と兵庫県平均を上回る結果となりましたが、「面積」や「単位当たり量」で、数字と言葉を使って解き方を説明する問題に課題が見られました。

本調査では、普段のテストで出題されるような問題とは異なり「知識」のみでなく、さまざまな知識を活用して自ら課題解決を図れることを問われる知識活用型の問題が多く出題されていました。今後、このような問題に対応できるような力を、更に伸ばしていきたいと考えています。

学習状況に関する調査結果について

- ① 「普段の学習時間が2時間以上」と回答した児童は28.5%と全国平均(26.9%)を上回っていましたが、「家で、自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童は67.2%で、全国平均(74.0%)を下回りました。
- ② 平日、1日に3時間以上テレビゲームをしている児童は全国平均(29.0%)を下回る27%です。また、「携帯電話・スマートフォン・コンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っている」と回答した児童は72.9%と、全国平均(70.1%)を上回っています。
- ③ 普段の読書時間は、1日に30分以上読書をしている割合が47.4%で全国平均(37.4%)よりも高いです。
- ④ 「自分にはよいところがある。」という質問について、肯定的な回答をしたのは、64.2%で、全国平均(76.9%)を下回りました。
- ⑤ 「友達と協力するのは楽しいと思いますか。」という質問については、肯定的な回答が94.2%で、全国平均(93.9%)をやや上回っていますが、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」と回答した児童は63.5%で全国平均(70.9%)より低いです。

- ⑥ 「国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか。」という質問に対して肯定的な回答が68.6%で全国平均(74.3%)を下回りました。
- ⑦ 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」という問いに対して肯定的な回答が94.1%で全国平均(92.6%)を上回っていますが、「算数の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。」という質問に対して肯定的な回答が76.6%で全国平均(82.7%)を下回りました。

今後の取り組みについて

(基礎・基本の徹底と授業改善)

- ・朝学習(読書・視写・漢字・計算・スピーチ)に取り組みます。
- ・つまずきやすい内容の確実な習得を図るために繰り返し学習を充実させます。
- ・反復練習のためのプリントを作成・活用し、基本事項の習得に役立てます。
- ・継続的に本読みに取り組ませ、適切に評価することにより理解につながる読みの力をつけていきます。
- ・子どもたちに身につけさせたい力を明確にし、「ねらい」の提示、「振り返り」の活動を工夫していきます。
- ・授業研究を推進し、子どもたちが主体的に学習に取り組む授業の実現のため研修会を積極的に行います。
- ・学習内容をよく理解し、より豊かな学びにしていくために、タブレット端末を活用していきます。

(思考力・判断力・表現力の育成)

- ・教材の本文を大切にした読みに取り組ませます。
- ・様々な教科、場面でスピーチの活動に取り組みます。
- ・思考を深めるために、効果的にペア・グループ活動を取り入れていきます。
- ・「話す力」向上に向け、系統的に言語活動に取り組みます。
- ・自他の意見を比べられるような場面設定を継続的に行い「聞く力」をつけていきます。
- ・文章構成を意識させ、趣旨を読み取る力をつけていきます。
- ・様々な機会をとらえ、要約文や条件に基づいた文章にまとめていきます。
- ・知識、技能を活用する学習(観察・実験やレポート作成、論述など)を充実させていきます。
- ・「自分の考えが相手にしっかりと伝わるように書く」活動に取り組んでいきます。
- ・授業の中に、比較・類推など、思考する場面を増やします。
- ・一人ひとりの疑問を課題設定に取り入れるような授業づくりを進めます。

(読書活動の推進)

- ・「読書の記録」を書く時間を設定し、活用します。
- ・読み聞かせの時間を増やします。
- ・子どもたちのニーズを把握した上で、図書館の本を充実させていきます。

(新学習システム等の活用等)

- ・「新学習システム」を有効に活用し、少人数指導を実施します。
- ・兵庫型教科担任制による交換授業を実施し、複数の教員が児童の指導に関わるとともに、専門性を活かして指導を充実させます。
- ・「土曜学習」を実施し、学習習慣と学習意欲の向上に努めます。
- ・放課後学習会を実施して、基礎・基本の定着に努めます。
- ・中学校と情報交換し、中学校ブロックでの学力向上に努めます。

(自尊感情を高めるために)

- ・コロナ禍で難しい面もありますが、様々な行事などを通して達成感を味わわせられるような取り組みを工夫します。
- ・キャリア教育を充実させ、将来の夢や目標について前向きに考えられるような機会を設定していきます。
- ・家庭や地域と連携しながら、子供たちの自己肯定感が高まるような学級作り、学校作りを目指します。